



(写真上↑) 肺がんCT写真

(写真右→) マルチスライスCT

(写真左←) 気管支内視鏡時X線写真



診療科の紹介

呼吸器内科

宮崎 こずえ 医師



当院は、内科12名のうち、倉岡院長以下7名の医師が呼吸器科に属します。対象となる疾患は、肺炎を初めとする呼吸器感染症、気管支喘息、慢性肺気腫などの慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性呼吸不全、肺癌、肺線維症や間質性肺炎、気胸、アスベスト障害を含むじん肺、睡眠時無呼吸症候群など多岐にわたり、緊急入院も多い分野です。

呼吸器疾患のひとつである肺癌は、現在、癌死亡順位のトップとなっています。当院は年間150例近くの肺癌入院があり、外科は年間50例近くの手術例があります。外科、放射線科と共に連携して肺癌の診断、治療に取り組んでおり、手術適応がある場合は外科にて手術療法、化学療法、化学療法の実施があります。

また、当院の特徴として、呼吸不全の診療にも積極的に取り組んでおります。年間150名近くの在宅酸素療法(HOT)患者さまを有し、在宅人工呼吸療法(非侵襲的人工呼吸療法：NPPV)数は、県内最多です。呼吸不全外来、理学療法士による呼吸リハビリの個別指導のほか、看護師、呼吸療法士、薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカーなどとチーム医療(包括的リハビリテーション)に取り組んでいます。年6回の呼吸器教室で一緒に勉強し、年1回の在宅酸素の患者さまの会の旅行なども実施しており、一昨年は山口県の湯本温泉へ、昨年は竹原市の湯坂温泉へ行きました。(年間プログラムを外来に揭示しています)

また、睡眠時無呼吸症候群の診療も行っています。一泊入院で睡眠検査(終夜睡眠ポリグラフ検査)による診断及び閉塞性睡眠時無呼吸症候群と診断後には鼻マスク式持続陽圧換気(CPAP)療法による治療を行っています。いびき、無呼吸、日中の眠気が気になる方は内科外来にご相談下さい。禁煙支援のための禁煙外来も開設しております。お気軽にご相談下さい。

気管支鏡検査：5,400円、生検時14,100円 (3割負担、診察料等別)

終夜睡眠ポリグラフ検査：9,900円、(3割負担、入院料などは別)

施設認定：日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設

“わかば” 27号 もくじ

呼吸器内科	1	シリーズNST-第2回	3
医療における“説明および同意書”について	2	第2回HOTの会 作品展開催	3
緩和ケアチームについて	2	インフルエンザワクチンについて	3

患者さまの権利と責任

1. 個人の尊厳は尊重され、最善で平等な医療を受ける権利を有します
2. 治療に関する情報を知り、説明を受ける権利を有します
3. 治療に関する方法を、自己の意思で決定する権利を有します
4. 個人の情報(プライバシー)が、保護される権利を有します
5. 医療関係者との信頼関係に基づき、医療への参加の責任を有します

医療における 「説明および同意書」

について

医療安全管理室

室長 松本 共栄



最近医療の現場では、説明および同意書の必要性が高まっています。病院の使命は、安全・安心な医療を提供することですが、医療行為の「実施前」「実施中」「実施後」において、それぞれ何らかのリスク(危険)を伴います。

説明および同意書は、病気の治療や検査を受けるに当たって、医師から手術、処置・検査の一部においてきちんと説明を受け、よく理解し納得したうえで、同意して頂くものです。

当院での説明および同意書は、平成12年頃より明文化し、患者さまより頂いておりますが、医師や看護師等が専門用語や略語を使った時など理解しにくい場合は、何度も説明を受け納得したうえで署名して下さい。

また、医師から言われたのだからと

らと言って必ずしも署名しなければいけないというものでもありません。病気の治療や検査を受けるに当たっては『十分な説明および理解と同意(納得)』が大切です。なお、ご自分での署名が難しい場合はご家族の署名をお願いします。同意書は、患者さま用と診療録(カルテ)控えがあります。患者さま用同意書は保管しておいて下さい。チーム医療のもとで病気の回復への支援をしておりますので、何か疑問な事などありましたらお気軽に職員に声をおかけ下さい。



緩和ケアチームについて

緩和ケアチーム副リーダー
主任看護師

西岡 徳子



〈緩和ケア チームとは〉

がん患者さまの症状コントロールを目標に、一般病棟におけるより専門性の高い緩和ケアの提供に取り組んでいます。主に疼痛緩和および副作用対策の効果を目指し患者さまのQOL(生活の質)、及び満足度の向上を目的としたチーム医療です。当院では、2007年4月にチームを組織し、医師・看護師・薬剤師・訪問看護師のメンバーがそれぞれの職種の専門を活かしながら活動しています。

〈緩和ケア チームの役割〉

1. 実際に病院で疼痛コントロールが必要な事例を検討し、職員に対して疼痛コントロールに対する啓蒙・アドバイスをを行う
2. 疼痛コントロールが必

要な患者さまのQOLが向上したか、また希望が達成出来ているかを確認及び効果の報告を行う

3. 疼痛緩和ケアに関するマニュアルの作成、更新、利用状況を把握する

活動を開始してまだ数ヶ月ですが、副作用対策に関しての取り決めに明確化したことにより副作用が減少し、薬剤師の介入により使用薬剤の効果判定に専門性が発揮されています。また発足初年度は、シリーズ化での研修会の開催を予定しており、緩和ケアに対して少しでも多くのスタッフが関心を持ち病院全体に緩和ケアの考えが浸透していくよう活動していきたいと思っております。患者さまやご家族の方で何かお困りのことがあればお声を掛けてください。



シリーズ
栄養サポートチーム
NST
Nutrition Support Team

吉島病院NST委員会

薬剤科

日高 直子



第2回 NST回診(ラウンド)について

入院時に臨床検査科で行われる栄養状態の指標となる検査データによりNST対象となる患者さまを決定し各病棟に連絡します。各病棟では、NST看護師が摂取エネルギー量・体重などから栄養評価を行います。また、体重変化・消化器症状など6項目についてチェックします。回診時、これらの評価を基にNSTメンバーでカンファレンス(検討会)を行い、主治医の協力を得ながらNST対象症例とすることを決定します。対象となられた患者さまに対しては、栄養補給の方法や必要エネルギーの算出など栄養プラン(計画)を立てます。

毎週火曜日の昼食の時間帯に実際にチームが患者さまのベッドサイドにお邪魔して、患者さまの食習慣や食べ物の好み・義歯(入れ歯)の状態などの話を伺い、最適な栄養療法の検討を行います。

回診の結果で、食事内容・経腸栄養の内容・点滴の内容などに変更すべき点があれば主治医に提案しています。

NSTチームがベッドサイドに伺うことがあれば、お気軽に声をかけてください。



第2回 HOTの会 作品展を 開催しました

HOTの会とは、
当院で在宅酸素療法を行っている患者さまの会です。

今年は、13名の患者さま・ご家族から、43名の参加がありました。どれも、大変素敵な作品で、見ていただいた方々からも、好評でした。新会長の杉原 邦治氏から、「梅雨の日の晴れ間のような、朝日に照らされたような、晴れやかな印象をうけました。私たちは、外に出ることが少ない中で、この作品を観て、心が洗われたような気持ちになりました。」というコメントを頂きました。その後に行われたリハビリ教室では、作品集を囲んで交流し楽しい時間を過ごす事ができました。みなさんの笑顔に出会えて、スタッフの喜びもひとしおでした。



インフルエンザワクチン について

かぜの中でも強力なのがインフルエンザ。感染力が強く、高熱を発するの
が特徴です。

関節などの痛み、頭痛や倦怠感、せき、のどの痛みなど重い症状を引き起こします。
インフルエンザを予防するには、予防接種が大変有効です。ワクチンの副作用はほとんどありません。流行する前に予防接種を受けておくことをお勧めします。とくに慢性の呼吸器疾患(喘息、肺気腫など)や心臓病などを持っている方こそ重症化を防ぐ必要があると思います。

現在のワクチンは、大人の場合1回でも十分であるとされています。通常、ワクチン接種後2週間で効き始め3ヶ月間程度効果があります。

当院では、予約の必要はありませんので、体調のいい時に主治医と相談の上お受けください。

接種費用は、1回につき3,000円(税込)です。(原則1回)

※なお、当院に通院中の患者さまを対象にお受けいたします。

